

平成27年1月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成26年6月6日

上場取引所 東

上場会社名 株式会社OSGコーポレーション

コード番号 6757 URL <http://www.osg-nandemonet.co.jp/>

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 溝端 雅敏

問合せ先責任者 (役職名) 取締役経理部長 (氏名) 藤沢 和一

TEL 06-6357-0101

四半期報告書提出予定日 平成26年6月13日

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成27年1月期第1四半期の連結業績(平成26年2月1日～平成26年4月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
27年1月期第1四半期	1,147	0.8	△11	—	△13	—	△56	—
26年1月期第1四半期	1,138	4.3	△24	—	△23	—	△23	—

(注) 包括利益 27年1月期第1四半期 △67百万円 (—%) 26年1月期第1四半期 △9百万円 (—%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
27年1月期第1四半期	△12.57	—
26年1月期第1四半期	△5.21	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
27年1月期第1四半期	3,852	1,983	49.6	424.92
26年1月期	3,951	2,141	52.4	460.11

(参考) 自己資本 27年1月期第1四半期 1,912百万円 26年1月期 2,070百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
26年1月期	—	0.00	—	20.00	20.00
27年1月期	—	—	—	—	—
27年1月期(予想)	—	0.00	—	20.00	20.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成27年1月期の連結業績予想(平成26年2月1日～平成27年1月31日)

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	2,800	1.6	225	11.4	225	12.0	115	8.8	25.56
通期	5,600	4.8	450	43.3	450	47.0	230	45.0	51.11

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
新規 一社 (社名) 、 除外 一社 (社名)
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
 - ② ①以外の会計方針の変更 : 無
 - ③ 会計上の見積りの変更 : 無
 - ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	27年1月期1Q	5,000,000 株	26年1月期	5,000,000 株
② 期末自己株式数	27年1月期1Q	500,215 株	26年1月期	500,215 株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	27年1月期1Q	4,499,785 株	26年1月期1Q	4,499,785 株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビュー手続は終了していません。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

上記の業績予想は、現時点において、入手可能な情報及び将来の業績に与える不確定要因を前提としております。従って、実際の業績は内外の状況により異なる結果となる場合がありますのでご承知おきください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	2
2. サマリー情報（注記事項）に関する事項	3
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	3
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	3
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	3
3. 四半期連結財務諸表	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第1四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第1四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(セグメント情報等)	8

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第1四半期連結累計期間におけるわが国の経済は、政府の経済対策への期待感や、日銀による金融緩和政策を背景に、企業収益の改善、設備投資の回復、雇用環境改善の動きが見られ、全体として緩やかな景気回復基調を継続しました。しかしながら、世界経済につきましては、中国をはじめとする新興国の成長鈍化への懸念、並びにウクライナや東アジアの情勢不安等、先行きは不透明な状況が続いております。

このような経済状況のもと、当社グループ（当社、連結子会社及び持分法適用会社）としては、健康志向の高まりによる飲料水に対する安心安全や、熱中症対策としての飲料水へのニーズに加え、衛生市場における「食中毒」や医療現場での「院内感染」といった殺菌水ビジネスにおける社会的ニーズも高くなっております。

また、2020年の夏季五輪が東京で開催されることにより、既に五輪競技施設を始め、公共施設に数多くの導入実績のある当社としては、新しい施設の建設・改修及びインフラ整備によってウォータービジネスは今後も成長すると判断し、さらなる事業の拡大を図るべく営業活動を推進してまいりました。

セグメントの業績は、次のとおりであります。

水関連機器事業につきましては、売上高517,747千円（前年同四半期17.7%減）、営業損失30,347千円（同営業利益18,256千円）となりました。

メンテナンス事業につきましては、予定通りに推移し、売上高377,327千円（同9.3%増）、営業利益36,337千円（同46.0%増）となりました。

HOD（水宅配）事業につきましては、ボトルドウォーター等の販売をはじめとして、加盟店の獲得は順調に進みましたが、積極的な販売促進策に伴う販売費の増加により、売上高192,906千円（同28.9%増）、営業損失674千円（同営業損失32,413千円）となりました。

以上のような状況で推移した結果、当第1四半期連結累計期間の売上高は1,147,649千円（同0.8%増）となりました。なお、当社グループは季節的な要素もあり前年同四半期同様、営業損失11,323千円（同営業損失24,371千円）、経常損失13,091千円（同経常損失23,010千円）、四半期純利益は投資有価証券評価損8,700千円の発生や法人税等の負担が大きく増加したことにより、四半期純損失56,570千円（同四半期純損失23,430千円）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

(資産)

当第1四半期連結会計期間末における流動資産は2,156,851千円となり、前連結会計年度末に比べ126,959千円減少いたしました。これは主に原材料及び貯蔵品が63,673千円増加いたしました。受取手形及び売掛金が96,838千円、現金及び預金が95,299千円減少したことによるものであります。固定資産は1,695,456千円となり、前連結会計年度末に比べ27,421千円増加いたしました。これは主に無形固定資産が32,453千円増加したことによるものであります。

この結果、総資産は、3,852,308千円となり、前連結会計年度末に比べ99,538千円減少いたしました。

(負債)

当第1四半期連結会計期間末における流動負債は1,141,089千円となり、前連結会計年度末に比べ85,424千円増加いたしました。これは主に賞与引当金が44,119千円、短期借入金が40,000千円増加したことによるものであります。固定負債は727,944千円となり、前連結会計年度末に比べ27,158千円減少いたしました。これは主にリース債務が23,501千円増加いたしました。長期借入金が36,824千円、社債が20,000千円減少したことによるものであります。

この結果、負債合計は1,869,033千円となり、前連結会計年度末に比べ58,266千円増加いたしました。

(純資産)

当第1四半期連結会計期間末における純資産合計は1,983,274千円となり、前連結会計年度末に比べ157,804千円減少いたしました。これは主に利益剰余金が146,566千円減少したことによるものであります。

この結果、自己資本比率は49.6%（前連結会計年度末は52.4%）となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

連結業績予想につきましては、平成26年3月14日の決算短信で公表いたしました第2四半期連結累計期間及び通期の連結業績予想に変更はありません。

2. サマリー情報（注記事項）に関する事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動
該当事項はありません。
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用
該当事項はありません。
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
該当事項はありません。

3. 四半期連結財務諸表

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成26年1月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成26年4月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	570,884	475,584
受取手形及び売掛金	991,160	894,321
商品及び製品	349,159	359,014
原材料及び貯蔵品	274,188	337,862
繰延税金資産	58,180	45,355
その他	42,753	47,711
貸倒引当金	△2,514	△2,998
流動資産合計	2,283,811	2,156,851
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	1,184,168	1,185,001
減価償却累計額	△881,272	△888,016
建物及び構築物（純額）	302,895	296,985
機械装置及び運搬具	227,625	227,625
減価償却累計額	△184,359	△186,725
機械装置及び運搬具（純額）	43,266	40,900
土地	723,955	723,955
その他	538,118	544,367
減価償却累計額	△499,248	△502,155
その他（純額）	38,870	42,211
有形固定資産合計	1,108,987	1,104,052
無形固定資産		
ソフトウェア	19,726	37,346
その他	27,605	42,439
無形固定資産合計	47,332	79,786
投資その他の資産		
投資有価証券	45,335	36,483
長期預金	107,000	107,000
長期貸付金	52,572	48,748
繰延税金資産	69,870	62,307
その他	294,732	316,276
貸倒引当金	△57,796	△59,199
投資その他の資産合計	511,715	511,617
固定資産合計	1,668,035	1,695,456
資産合計	3,951,846	3,852,308

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成26年1月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成26年4月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	356,786	366,832
短期借入金	170,000	210,000
1年内返済予定の長期借入金	133,481	135,980
1年内償還予定の社債	40,000	40,000
リース債務	12,842	19,767
未払法人税等	103,323	14,446
賞与引当金	32,630	76,749
返品調整引当金	18,212	12,344
その他	188,388	264,969
流動負債合計	1,055,664	1,141,089
固定負債		
社債	60,000	40,000
長期借入金	338,914	302,090
リース債務	17,676	41,177
退職給付引当金	159,315	157,091
役員退職慰労引当金	121,308	122,395
資産除去債務	14,378	14,456
その他	43,510	50,733
固定負債合計	755,102	727,944
負債合計	1,810,767	1,869,033
純資産の部		
株主資本		
資本金	601,000	601,000
資本剰余金	690,401	690,401
利益剰余金	927,838	781,271
自己株式	△195,576	△195,576
株主資本合計	2,023,663	1,877,097
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	1,472	1,398
為替換算調整勘定	45,275	33,565
その他の包括利益累計額合計	46,748	34,963
少数株主持分	70,667	71,213
純資産合計	2,141,079	1,983,274
負債純資産合計	3,951,846	3,852,308

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第1四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成25年2月1日 至平成25年4月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成26年2月1日 至平成26年4月30日)
売上高	1,138,237	1,147,649
売上原価	398,032	415,809
売上総利益	740,205	731,839
販売費及び一般管理費	764,577	743,162
営業損失(△)	△24,371	△11,323
営業外収益		
受取利息	3,828	3,657
為替差益	781	—
その他	1,921	1,245
営業外収益合計	6,532	4,902
営業外費用		
支払利息	3,081	2,473
持分法による投資損失	636	1,459
為替差損	—	676
その他	1,452	2,060
営業外費用合計	5,171	6,670
経常損失(△)	△23,010	△13,091
特別損失		
投資有価証券評価損	—	8,700
特別損失合計	—	8,700
税金等調整前四半期純損失(△)	△23,010	△21,791
法人税、住民税及び事業税	18,527	13,768
法人税等調整額	△9,593	20,464
法人税等合計	8,933	34,233
少数株主損益調整前四半期純損失(△)	△31,944	△56,024
少数株主利益又は少数株主損失(△)	△8,513	545
四半期純損失(△)	△23,430	△56,570

(四半期連結包括利益計算書)

(第1四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成25年2月1日 至平成25年4月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成26年2月1日 至平成26年4月30日)
少数株主損益調整前四半期純損失(△)	△31,944	△56,024
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	2,007	△74
為替換算調整勘定	20,338	△11,699
持分法適用会社に対する持分相当額	74	△9
その他の包括利益合計	22,420	△11,784
四半期包括利益	△9,523	△67,809
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	△1,780	△68,354
少数株主に係る四半期包括利益	△7,742	545

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第1四半期連結累計期間(自平成25年2月1日 至平成25年4月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント					調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	水関連機 器事業	メンテナ ンス事業	HOD (水宅配) 事業	その他事業	計		
売上高							
外部顧客への売上高	629,282	345,161	149,669	14,124	1,138,237	—	1,138,237
セグメント間の内部売上 高又は振替高	—	—	—	—	—	—	—
計	629,282	345,161	149,669	14,124	1,138,237	—	1,138,237
セグメント利益又はセグメ ント損失(△)	18,256	24,883	△32,413	2,090	12,817	△37,188	△24,371

(注) 1 セグメント利益又はセグメント損失(△)の調整額△37,188千円は、主に提出会社本社の管理部門に係る費用であります。

2 セグメント利益又はセグメント損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業損失と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

II 当第1四半期連結累計期間(自平成26年2月1日 至平成26年4月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント					調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	水関連機 器事業	メンテナ ンス事業	HOD (水宅配) 事業	その他事業	計		
売上高							
外部顧客への売上高	517,747	377,327	192,906	59,667	1,147,649	—	1,147,649
セグメント間の内部売上 高又は振替高	—	—	—	—	—	—	—
計	517,747	377,327	192,906	59,667	1,147,649	—	1,147,649
セグメント利益又はセグメ ント損失(△)	△30,347	36,337	△674	21,655	26,970	△38,294	△11,323

(注) 1 セグメント利益又はセグメント損失(△)の調整額△38,294千円は、主に提出会社本社の管理部門に係る費用であります。

2 セグメント利益又はセグメント損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業損失と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。